

# 江府町報

## 2月号

発行者  
鳥取県江府町  
電話 江尾(代) 2211  
編集 企画室  
印刷 (有)富士印刷

### 江府町の人口

(1月31日現在)

世帯数	1336	世帯
人口	5,134	人
(前月比)	9	人減
(男)	2,494	
(女)	2,640	
出生	3	
(男)	3	
(女)	0	
転入	7	
(男)	2	
(女)	5	
転出	12	
(男)	6	
(女)	6	
死亡	7	
(男)	6	
(女)	1	

第158号

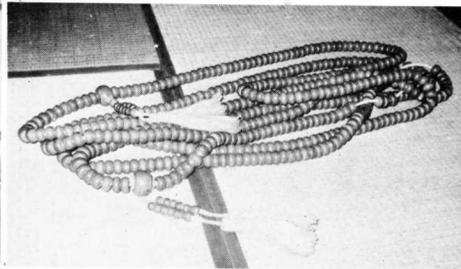
## 春を待つ数珠繰り



▲輪になり読経にのせて数珠を送る



▶母珠が回ってきたとき押しいただき、諸災消滅を祈る



▲手前のふさが母珠(大珠)長さ10尺の数珠

二月十三日、助沢地区恒例の数珠(じゆず・ずず)繰りが行われた。諸災消滅を祈る村の講である。会場は、珍しく仏壇のある公民館、村の辻堂から移された虚空蔵菩薩の前で鐘を打ち鳴らし、先達をつとめる井上一さんの読経にのせ、一〇尺もあるジャンボ数珠を全戸から参拝した面々が回してゆく。

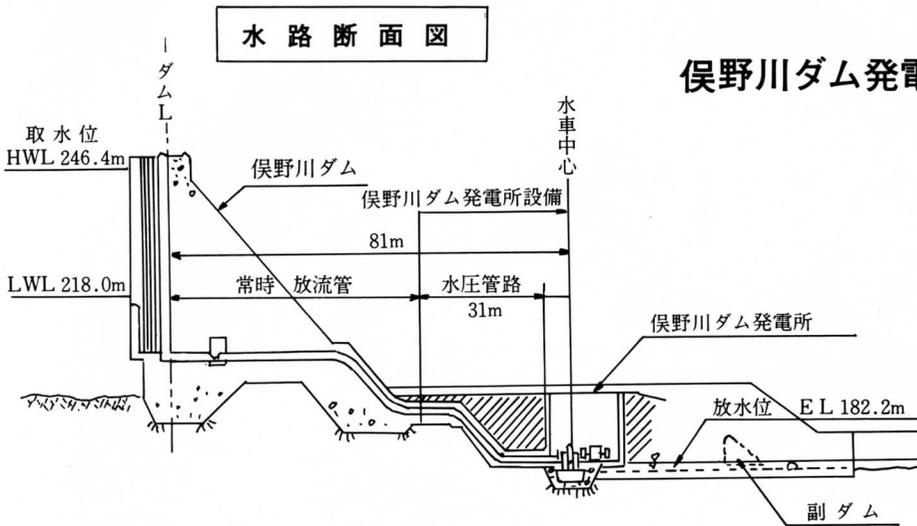
ズッシリと降り積んだ雪に室内はほの暗く「雪の重みで動かない」戸、障子もあって寒さが身にしみる。

「数珠繰りが済むと春が来ます  
「けえ」  
接待の席、熱い番茶をすすりながら言った婦人の声は明るく、はずんでいた。

笹鳴きや 春待ち給う仏達  
東水

議 会 全 員 協 議 会

俣野川ダム発電所併設を了承



一月十四日の臨時町議会に引き続き議会全員協議会を開催、昨年十二月二十五日付中国電力株式会社、松谷社長名を以って申し入れのありました俣野川ダム発電所の建設について、同社俣野川発電所建設所、小石川所長以下責任者の出席を求め、計画の説明と協議検

討の結果、この計画が、現在建設中の俣野川ダムの建設工事を含めて施工されるものであり、発電所の建設および運営に関し下流域に与える影響は現況とあまり異なるおそれがないものであろうとの見通しから、全員一致これを了承されました。

ダムの放流水利用

最大出力二、一〇〇ワット

この発電所は、現在建設中の俣野川発電所関連施設である、俣野川ダムの放流水を利用したダム式

発電所で、俣野川ダムに併設し、有効落差、六十二メートルを利用して最大出力二、一〇〇ワットの発電所を建設しようとするもので、建設が進められている揚水式発電所と併せ、最大出力は、百二十万二、一〇〇ワットとなります。  
国の認可を受ければ、現在建設中の俣野川ダムの建設工事を含めて施行され、ダムの本体工事完成予定の、五十九年夏の運転開始に向けて工事が進められることとなります。  
総工費は、約十億円の見込みです。

一月臨時町議会

川筋水道の契約変更

一月臨時町議会は、一月十四日開かれ、町長提出の二議案を原案どおり可決しました。

議決された事項は次の通りです。

川筋地区簡易水道新設工事請負変更契約の締結

工区全域にわたって工事変更部分を精査し、この精算設計に基づき、工事費百三十三万七千円の追

加契約をするもの。  
変更後の契約金額  
一億七、七五九万四千円

簡易水道事業特別会計補正予算  
既定の予算額に、百六十一万三千円を追加し、総額を一億七千五百九十一万五千円とした。

主な内容は、川筋地区簡易水道新設工事請負変更契約に伴い、既定予算額の不足を補正したもの。

町長日誌

\* 1 月

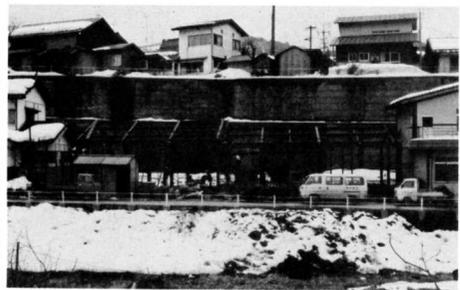
- 4日(月) ご用始め 在勤
- 5日(火) 消防出初め式 在勤
- 6日(水) 在勤
- 7日(木) 西部町村長、議長会 合同行政懇談会 在勤
- 8日(金) 在勤
- 9日(土) 在勤
- 10日(日) 江尾消防隊出初め式 在勤
- 11日(月) 在勤
- 12日(火) 西部町村長会(米子) 商工会長との懇談会(米子)
- 13日(水) 臨時町議会
- 14日(木) 成人式、高齢者顕彰式
- 15日(金) 電源交付金事業に係る関係地区区長会
- 16日(土) 町婦人大会
- 17日(日) 佐川集会所起工式
- 18日(月) 農協野菜冬期講座講義
- 19日(火) 中電岡村取締役来庁
- 20日(水) 尿処理施設増設工事起工式
- 21日(木) 広域管理組合正・副管理者会(米子) 在勤
- 22日(金) 在勤
- 23日(土) 在勤
- 25日(月) 昭和五十七年度予算 査定
- 30日(土) 査定

# 明るい町へ

## ちやくちやく

### 児童館を建設

本町五丁目



▶完成が待たれる明道児童館

同和対策事業の一環として、本町五丁目の集会所（明道館）と隣接して、町立明道児童館新築工事が三月末の完成を目指し

て急ピッチで進められています。新築が進む児童館は、鉄筋コンクリート平屋建て延面積一九九・九〇坪、工事費二、四〇〇万円。施設は、集会室、遊戯室、図書室、事務室が設けられます。

完成しますと地区内の児童の仲間づくりと健康づくりを促進し、豊かな情操教育を期するために役立つものと期待されます。

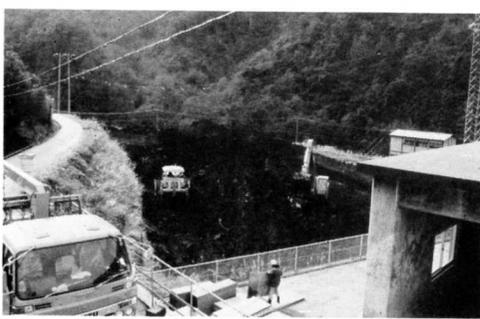
### 16トンの処理能力 し尿処理施設を増設

日南・日野・江府の三町が運営している衛生施設組合・清化園では、五十六・五十七年度の二か年連続で、し尿処理施設の増設工事を進めています。

この工事は、し尿の自家処理量の減少及び発電所建設等大規模工事関係の人口増加によりし尿の収集量が急激に増大し、現

在ある処理施設（日量十四ト）では能力的に住民の要請に対応できなくなり、その処理体制の強化に努めるための施設整備を急いでいるものです。

新しい施設は、二段活性汚泥法処理方式を採用し、一日当り十六トの処理能力です。工事費三億九、三二七万円、総面積は一、五一〇坪で、鉄筋コンクリート平屋、一部三階建てです。



▶建設が進む、し尿処理施設

## 県知事選挙

### 投票日は3月14日

鳥取県知事選挙は3月14日に投票が行われます。今回の選挙は、今後の県政を担う大切な人を選ぶ選挙です。棄権しないで投票しましょう。

#### 名簿登録基準日は 二月十六日

このたびの選挙の選挙人名簿登録基準日は、二月十六日（告示日の前日）とされ、この日前三か月以上町内に住所のある人は町内で投票ができます。

転入された人は、十一月十六日までに届出をされている人。十一月十七日以後に転入の届出をされた人、十一月十三日までに転出をされた人は他の市町村で投票することになります。

なお、投票日までに県内に転出された人は、転出先の居住証明書を持参しないと投票ができません。

また、投票日までに県外に転出された人は、鳥取県知事の選挙をする権利を失います。なお、新しく有権者となる

#### 不在者投票は 三月十三日まで

人は、昭和三十七年三月十五日までに生まれた人です。投票日の当日、やむを得ない理由で投票所へ行けない人は、二月十七日から三月十三日までの間不在者投票ができます。

不在者投票は、町の選挙管理委員会（役場内）へ印かんを持参し、その理由を言って宣誓すれば投票ができます。また、不在者投票管理者を置く指定病院、施設等に入院、入所の場合は、本人の申出により、それぞれの病院、施設からの請求で不在者投票ができます。

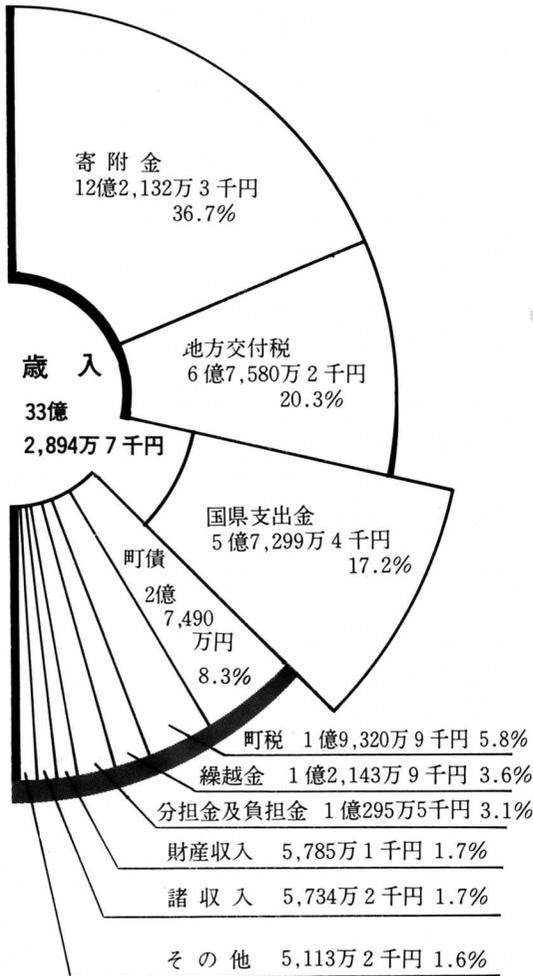
他の市町村に住んでいる人は、宣誓書を添え郵便で投票用紙を請求し、受取ったら住所地の選挙管理委員会に行つて投票ができますが、郵送に日数がかかり、折角の不在者投票が投票日に到着しないことがありますから、ご注意ください。

#### 在宅投票の用紙請求は 三月十日まで

郵便による不在者投票の投票用紙の交付請求期限は、三月十日です。

郵便投票は、自宅へ投票し、郵便で町選管へ送付するもので、身体障害者手帳のある人で町の選管から四年間有効の郵便投票証明書を受けている人ができるものです。投票用紙の請求は、町選管に郵便投票証明書を提示して請求します。

# 32億7,005万円



十二月定例町議会で昭和五十五年度一般会計をはじめ各特別会計の決算が認定されました。

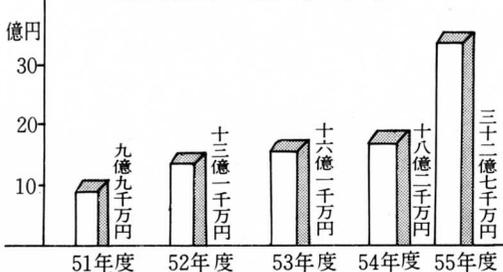
これによりますと、この一年間に町民一人当りに使われたお金は、六十三万一千円となっております。

今回は、みなさんが納められた税金がどのように使われたのか、五十五年度の町の台所にスポットをあててみました。

## 町民1人あたり決算のうちわけ (5,183人 56年3月末)



一般会計決算(歳出)の推移



町の台所より

55年度決算

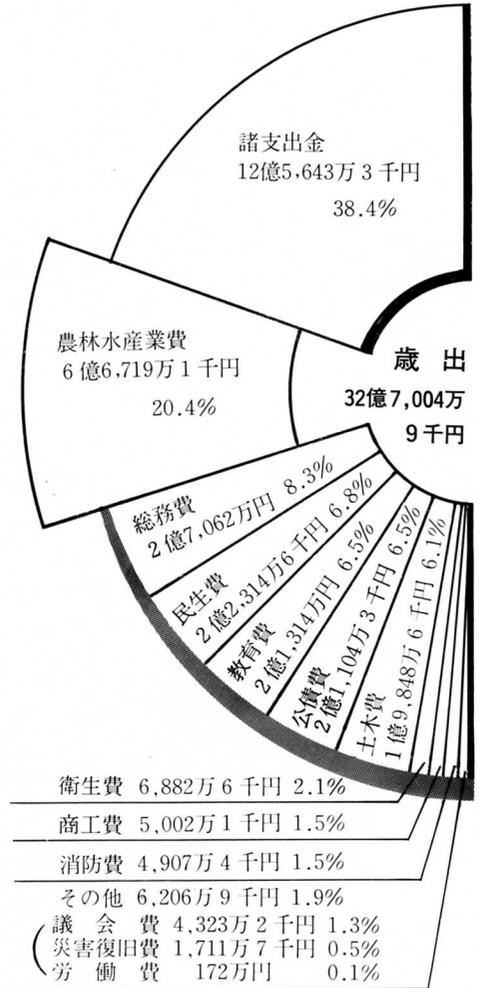
一般会計

特別会計決算

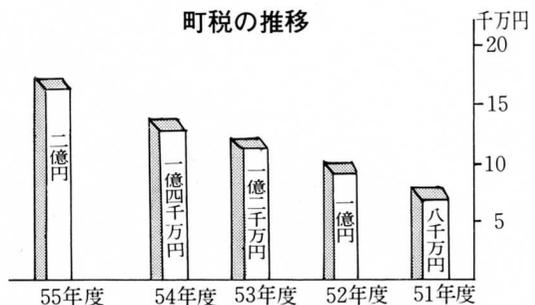
国民健康保険		
歳入	232,344	千円
歳出	224,833	千円
簡易水道事業		
歳入	72,010	千円
歳出	69,439	千円
米沢財産区		
歳入	3,338	千円
歳出	2,444	千円
神奈川財産区		
歳入	1	千円
歳出	0	千円
江尾財産区		
歳入	514	千円
歳出	181	千円
住宅新築資金等貸付事業		
歳入	18,225	千円
歳出	18,221	千円
老人居室整備資金貸付事業		
歳入	19,545	千円
歳出	19,519	千円
障害者住宅整備資金貸付事業		
歳入	8,089	千円
歳出	8,085	千円

事業会計決算

南大山国民宿舍山荘甘酒茶屋		
収入	79,779	千円
支出	78,734	千円



町税の推移



# 知識と予防

## 高血圧教室

**日時**  
3月18日(木)  
午前10時から  
午後4時

**場所** 老人の家  
(教育委員会隣)

**内容**  
(午前の部)  
・映画「脳卒中の予防」  
(午後の部)  
・生活・栄養指導  
・減塩食の試食  
・みそ汁塩分測定

(午後の部)  
・講演  
「脳卒中について」  
健康増進センター  
所長 安藤医師  
・血圧測定、個人指導

**対象**  
高血圧で日常生活  
注意の必要な人及  
びその家族  
(食事担当者)

## 冬に大流行 インフルエンザ

最初に「かぜ」にもいろいろな種類と型がある、ということですが、

### 普通感冒(鼻かぜ)

発病は比較的ゆっくりで、最も普通にみられるかぜ。鼻みず・鼻づまり・くしゃみ・むずがゆき、などが主な症状です。

### インフルエンザ

症状が激しく、伝染力の強い病気で、急に39度前後の高熱が出て同時に頭痛・腰痛・筋肉痛・全身倦怠感などをともない、せき、のどの痛み・鼻みずなどがでくるとののは、その後です。安静を守れば

一週間前後で治りますが、無理をしたり、お年寄りの場合などは、肺炎などの合併症を起しやすくて危険です。

### 肺炎

(A)マイコプラズマ肺炎：学童期から思春期に多く、しつこいせき

・38〜40度の発熱・結膜充血・頭痛などのほか、息切れ・チアノーゼもみられます。秋から春にかけて多い。

### カゼとインフルエンザを区別する目安

発病の状態	カゼはゆっくりおこり、インフルエンザは急激に発病する。
寒気	カゼでは軽度だが、インフルエンザでは強い寒気。
熱	カゼは比較的低い、インフルエンザでは高い。
腰痛、関節痛	カゼはあっても軽度、インフルエンザでは強く痛む。
頭痛	インフルエンザでは強いが、カゼでも強い場合があるので、頭痛では区別できない。
全身のだるい感じ	インフルエンザのほうが強い。
肺炎と合併する率	カゼでは老人、幼児以外はまれだが、インフルエンザでは率が高く、油断できない。

今年二月五日、厚生省のまとめによりますと、インフルエンザの患者が、今冬ついに五十五万人に達し、今後さらに大流行する恐れがある、といっています。

五十二年冬の患者数は二百四十四万人、

五十二年冬は二百六十二万人、五十三年

冬は三百一万人、五十四年冬は二十四万

人、五十五年冬は百八十八万人、五十六年

冬は五十五万人を記録しており(左表)患者数の増え方が五十二年冬とよく似ていることから、大流行する公算が強いと

みています。そこで、今月は「かぜ」について少し述べてみたいと思います。



### 気管支炎

鼻みず・くしゃみ・せきなどに続いて、せきがだんだんひどくなり、たんがのどにからんだり、発熱・胸痛・時に血たんがある場合は、気管支炎の疑い大です。

普通感冒とインフルエンザの区別の目安を右表にあげていますので参考にして下さい。

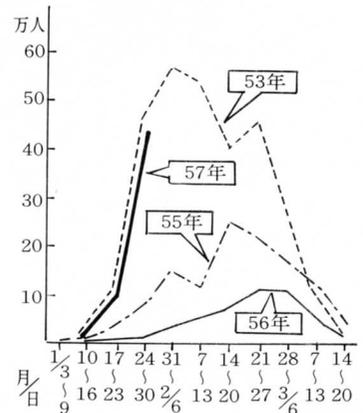
▶日常からうがいをしましょう



# “かぜ”の

インフルエンザ様疾患週別発生状況

対象施設 (保育所、幼稚園、小学校、中学校、その他)



## かぜの防止対策

### 日常からうがいを

次に「かぜ」の防止対策ですが、まず、かぜをひきやすい体質の人は、体質を改善しなくてはなりません。

①皮フをきたえる  
皮フをきたえようと、自律神経がきたえられ体温調節機能が活発化して、かぜの誘因の一つである急激な温度変化に発病のスキを与えなくなります。まず乾

②のどを大切に  
かぜをひいてから、うがいをしても効果はありません。かぜウイルスは鼻から入って鼻粘膜につくからです。平素からうがいを続けて、のどの血液の循環をよくして抵抗力をつけておくことです。

③バランスのよい食事を  
日ごろからバランスのよい食事をとっていると、抗体・白血球・組織細胞の活力が高まって、かぜをひきにくくなります。特に十分なタンパク質とビタミン類、なかでもビタミンAとCを十分にとることは、きわめて大切です。

又、かぜには、かぜにかかる「引き金」があります。その引き金とは、ひとくちでいえば温度調整がうまくゆかなかったときです。こうした面からの防止対策をあげておきます。

- ・うたた寝をしない
- ・風呂には二本のタオルを使い、十分に水気をとる
- ・中年の薄着はやめる
- ・吸湿性のよい薄手の肌着を基本に、気温に応じて重ね着するとよい。
- ・寝具にも配慮を
- ・寝具はよく乾燥させ、掛け布団は、からだによく合ったものを。

寝巻は汗を吸う吸湿性のよいものを着る。

- ・過労や気のゆるみは重大なかぜの引き金
- ・度をこした過労や休日前の気のゆるみを大いに警戒する。
- ・「かぜ」をひいてしまったら：まず発病初期に無理をしないこと、「一に安静二に安静」が早期回復への近道です。
- ・安静にする
- ・保温と加温に努める
- ・栄養と水分をしっかりとる

(資料)保健同人社「かぜとインフルエンザを防ぐ」から)

**離乳食指導教室**

日時  
3月17日(水)  
午後1時30分  
から4時

場所  
老人の家(教育  
委員会隣)

対象  
昭和56年5  
月~11月出生  
児の保育者

内容  
離乳食調理実習、  
乳児の身体計測  
育児相談など

▶西ノ島の子供たちは初すべりを楽しみました



### 寄宿舎を閉舎

お世話になりました

二月二十七日江府中学校寄宿舎の閉舎式を行いました。  
今年には六十二人の生徒が入舎し、団体生活の規律の中で、友人との協調、家庭生活の反省など思い出多い寄宿舎生活を過ごしました。



### 学校のわだい



▶閉舎式に引き続いて行われた学生会では、寄宿舎生活の思い出話に花が咲きました。

### 西ノ島からお客さん

#### 児童のスキー交歓

今年も二月十一日から三日間、南大山スキー場で西ノ島町の小学校児童六十人と町内小学校児童が親善交歓スキー教室を開催しました。このスキー教室は、今年で三回目。

西ノ島町とは姉妹町縁組を交わして以来、夏季は西ノ島町で海水浴、冬季は本町でスキー教室と、両町の自然を生かした小学生の交流会を開催しています。



### 献血手帳

#### 4月から衣替え

献血手帳が4月1日から衣替えし、「供給記録」欄がなくなります。これは、いままでも本人や家族などが輸血を必要とする場合に備えて献血しておく「預血」の性格が強かったため、日本赤十字社と厚生省は無償の善意に支えられることこそが献血の本来の姿として、手帳の内容を変更したものです。したがって今後輸血を受けられる場合、医療機関に献血手帳を提出する必要がなくなりました。献血事業は多くの人たちの善意に支えられていますが、今回の改正によってより一層、真の善意、生命を支えるボランティアへ前進します。

また、献血した血液は、梅毒検査、肝機能検査など13項目の検査を行い、献血者全員に個人通知されます。健康管理に役立ててください。

今までの献血手帳は、献血車が来たときに提出して下さい。次の献血車は3月19日に来る予定ですので、ご協力ください。献血は、みなさんのまごころです。

### 除雪に威力を発揮

#### 除雪車を購入

(半の上地区)

昨年暮半の上地区では通勤通学はもとより日常生活や防災



▲五馬力の除雪車は、雪を吹き飛ばしながら

### 地域のわだい



俳句同人会

雪跨ぎ勤め通いも二三日  
大試験終り日毎に落付かず  
小気味よく鹿草囓む牛春隣  
仏飯につかの間の湯気春浅し  
山小屋の貂の飛びだし雪卸し  
雪降りて小鳥寄りくる木守柿  
春立ちぬ茶筌返して静かなり  
恋猫の障子を開けて出る気配  
風上げる孫に手を借す空に雲  
苗床をつくる四角に雪を掘る  
神杉の木肌を傳ふ冬の雨

- 仲嶋勝枝 川崎藤子 門脇京子 清水純子 下原久代 中尾きよ子 藤原晴江 渡辺菊代 浦部久吉 加藤泉翠 井上中山



国民年金 確定申告に 保険料が控除

国民年金の保険料は、確定申告のときに  
社会保険料控除として所得から差し引かれ  
ます。

自営業などの人で、所得税の確定申告を  
される際には、忘れずに昭和56年1月から12  
月までに支払った額を所定の申告書に記入  
し控除を受けてください。

自分の保険料はもちろんのこと家族の保  
険料を支払った場合も同様です。

国民年金の保険料 昭和56年1月から12月まで

1月～3月 月額 3,770円 小計 11,310円

4月～12月 月額 4,500円 小計 40,500円  
合計 51,810円

なお付加保険料を1年間納めた人は、4,800  
円を加えて、56,610円となります。



▲雪の降る日も清掃奉仕をするお年寄り(小江尾停留所で)

小江尾の篠田るい、篠田貞  
子、篠田篠、永井よしゑ、  
手島三智枝ら五人のお年寄り

は、小江尾停留所の清掃奉仕を  
行い、利用者に大変喜ばれてい  
ます。また、冬期には手作りの

(小江尾地区)

バス利用者に好評 お年寄りが清掃奉仕

に備えるため、除雪車を購入し  
ました。  
除雪車は、三十三万円。除雪  
した雪を遠くに飛ばしながら除  
雪していくもので、最大除雪幅  
五十五センチ、かき上げた雪は最高  
十センチまで飛ばし、作業能力もた

くましい。  
今年の大雪期の除雪には大活  
躍。とくに通学路である半の上  
農道の除雪に地元住民は大喜び。  
今後も地区内路線の交通確保の  
ために威力を発揮することとし  
よう。

座布団をベンチ  
に敷くなど暖か  
いプレゼントと  
して喜ばれてい  
ます。  
五人のお年寄  
りたちは「私た  
ちの利用する停  
留所は私たちの  
手できれいに  
清掃奉仕を始め  
ましたが、今後  
もこうした奉仕  
活動を続けてい  
きたい」と話し  
ていました。

# 人の動き(二月届)

## お誕生おめでとう

貝田 岡田勇一 昇 長男  
 空場団地 篠原義明 政明 二男  
 本一 勝見 仁 純 三男

## ご結婚を祝します

弓取 敏光 岡山市  
 森田 和香 貝田から  
 神庭 愛明 大河原  
 塔田 京子 日南町新屋から

## ありがとう

### いざいしました

(一月中寄託分)

## 香典返しとして

貝田 森田 智殿 (父保治様ご逝去)  
 大万 徳岡 正人殿 (父信隆様ご逝去)  
 荒田 林孝代隆殿 (父政幸様ご逝去)  
 小江尾 宇田川千万子殿 (母常子様ご逝去)  
 武庫 宇田川満殿 (父正二様ご逝去)  
 洲河崎 佐々木嶼子殿 (夫鐵郎様ご逝去)  
 内祝として  
 大河原 神庭堯子殿(本人様退院)  
 吉原 新兄富貴枝殿(本人様退院)  
 貝田 森田勝史殿(本人様退院)

乗本 正晴) 米子市勝田町  
 中川 敏子) 江尾から  
 中祖 律雄) 吉原  
 法萃みち子) 岡山真真庭郡から  
 三根 晴壽) 長崎県長崎市  
 大岩ひとみ) 下蚊屋から  
 安田 一成) 大河原  
 前田久美子) 米子市花園町から

## ごめい福を祈ります

大万 徳岡信隆 82歳 正人宅  
 荒田 林 政幸 80歳 喜代隆宅  
 武庫 宇田川正三 89歳 満 宅  
 貝田 池田福重 89歳 敏治宅  
 洲河崎 佐々木鐵郎 70歳 嶼子宅  
 吉原 清水正臣 69歳 たな代宅  
 新二 福田節子 80歳 和夫宅

久連 生田人美殿(本人様退院)  
 御机 伊達信夫殿(勇孝様退院)  
 以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。 江府町社会福祉協議会

## 善意銀行受払報告

- 1. 一上月末累計額 七百七十一万五千四百七十二円
- 2. 一月中寄付額 十六万円
- 内 訳  
 快気祝 四万五千元  
 香典返し 十一万五千元
- 3. 支出額  
 需用費 五千二百八十円
- 4. 一月末累計額 百八十八万九千九百九十一円

## まちの伝説

# 七色かし



▶ 明倫小学校から望む「七色かし」

上城がありました。そしてその城主半口藤右衛門繁吉の息子に亀之丞という若者がいました。一方この城内には美しいおみさという娘がつかえており、亀之丞の身のまわりの世話をつとめていました。

目通り周囲一町六五町の「シラガシ」があり、年中葉の色を変えます。四月頃は紫、五月黄あるいは黄だいたい、六月白、七月赤、八月緑、九月下旬から翌年三月まで青黒と七回順次変化するので、「七色かし」の名があります。この変化の原因は、太陽光線に対する特殊な保護作用によるものであろうといわれています。「七色かしの枝を切ると血がでる」「幹をいためると災難がある」などと語り伝えられ、伝説と共に今もなお、七色かしのいためる人もなく、すくすくと生長しています。昔、現在の半ノ上に、半ノ

開の臣大野修理治長の娘が、亀之丞のお嫁さんに来る話がありました。この話を伝え聞いたおみさは、余りの驚きと悲しさのために、それからというもの仕事も手につかず、顔色は生気を失っていました。

ついに大阪からお嫁さんが来る日がやってきました。半ノ上城からは遠く大阪まで迎える人が出かけ、城内はもちろん、村人たちもこの日をお祝いの休日として、お嫁さんの興入れのあるのを待っていました。

そうした喜びに包まれていた婚礼の夜、おみさはひそかに

に城をぬけ出して、悲しさの余り淵に身をなげて、独り寂しく消えていったのです。人々が驚いてかけつけた時、そこにはもうおみさの姿はなく、岸のかしの木の小枝に、婚礼の夜に着るようにと藤右衛門の与えた美しい晴着が一枚、おみさの悲しみを物語るかのようになり、寂しくかかっています。おみさの死体はあがらず、その後だれいいうとなくその淵を「乙女が淵」と呼ぶようになり、身を投げて死んだおみさは、身を大蛇に変えて「乙女が淵」の主となったのです。

それから長い年月が過ぎて、日野川の流れも変わり、きのうの淵もきょうは瀬となって、さしも深い「乙女が淵」も、だんだん砂にうずまって、とうとう陸になってしまいました。主の大蛇も住む淵を失い、岸にのがれてあのかしの木をつたい天にのぼってしまいましたが、陸になった「乙女が淵」は、夏は緑に秋は黄金の波うつ水田となって、しかもその一部は明倫小学校の校庭になっています。

そして、おみさが最後に晴着をかけていった川岸のかしの木は、春から夏にかけて美しい葉を輝かせてそびえている七色かしの大木になっているのです。

(江府町史から)